

お客様から信頼され、感動を与える
エクセレントカンパニーへ



太陽誘電株式会社

高崎市



- ▶ 代表者: 登坂 正一
- ▶ 設立年月日: 1950年3月23日
- ▶ 資本金: 335億7,500万円
- ▶ 従業員数: 21,723人
- ▶ 住所: 高崎市栄町8-1
- ▶ TEL: 027-324-2300
- ▶ URL: <https://www.yuden.co.jp/jp/>

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

太陽誘電は1950年の創業以来、コンデンサに始まり、インダクタ、FBAR/SAWデバイス、回路モジュール、蓄電デバイスといった各種電子部品の研究・開発、生産、販売に取り組み、今日まで発展してきました。

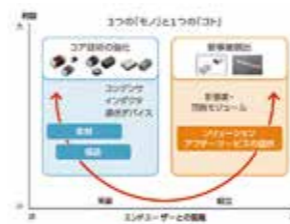
当社は「従業員の幸福」、「地域社会への貢献」、「株主に対する配当責任」という経営理念のとおり、取引先、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様と、お互いに発展しあえる関係を築いていきたいと強く願っています。当社は、創業以来培ってきた高い技術・開発力、提案力等を駆使してさらなる社会貢献と成長を目指し、全力を尽くして事業に取り組んで参ります。

経緯・背景

太陽誘電グループは、人に寄り添う社会課題解決型のビジネスとして新規事業の開発を推進しています。

そのための施策として、材料技術や積層技術等の強みを活かした電子部品としての「モノ」の開発と両立して、スマイルカーブの右端ゾーンで高付加価値なソリューションを提案する「コト」の強化を図っています。

「コト」とは、単純な実装・組み立てとは一線を画したソリューション提案を推進し、高付加価値の新事業創出を目指す事業活動です。



具体的な取組

太陽誘電は経営理念のひとつとして「地域社会への貢献」を掲げ、社会課題解決の一環として群馬県内での社会実験やオープンイノベーション等を通じて、DXとSDGsを組み合わせた持続可能な地域づくりを進めています。

当社が培ってきた無線ネットワークや高精度センサなど先進技術を活用したIoTエンジンsoliot™(ソリオット)や光無線通信ソリューション、防災・減災に貢献できる水害・橋梁監視ソリューション、CO₂排出やエネルギーロスを削減する回生電動自転車向けシステムなど、さまざまな新事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。



成果・効果

- IoTエンジンsoliot™: 群馬大学附属病院での災害トリアージ訓練で、救急医療の効率化に向けたIoTシステム実証実験
 - PV無線ストリング監視システムsolmiv™(ソルミーヴ): 群馬県含む全国約100箇所での100MW規模の発電所で採用され電力ロスの低減に貢献
 - 光無線通信: 前橋商工会議所{ALSOK群馬(株)との協業}と高崎市城南野球場等でトライアル&稼働中
 - 橋梁監視システム: 群馬県における12橋梁での社会実験を通し、過積載対策で国交省のi-constructionプロジェクトにも参加
 - 水害監視システム: 国交省プロジェクトの危機管理型水位計として群馬県内でも採用され、大泉町と千代田町では発展形の水害監視ソリューション(カメラとIoTシステム付加)としての実証実験
 - 回生電動システム: 環境と安全性の両立も目指しつつ、前橋市で2021年4月からシェアサイクルサービスが開始
- さらに、R&Dによる⑦圧電振動センサ/アクチュエータ⑧においセンサおよび⑨全固体電池等を組み合わせていくことで、社会課題解決を通じたSDGs活動を推進していきます。



当社にとってのSDGsと、その展望

太陽誘電の経営理念の3原則を実践することで、グローバルな観点で社会性、公益性、公共性を全うし、企業を持続的に成長させていくことが、経営の使命と考えています。

グローバル化の進展により、各国・各企業の関係が複雑になる中、国連におけるSDGsの採択にみられるように、社会的課題が共有され、その解決への期待が高まっています。同時に、ステークホルダーから企業に対して「環境」「社会」「ガバナンス」(ESG)を重視したサステナブルな取組の要請が増加しています。当社は、ESGが経営における機会およびリスクになることを認識し、事業を通じて社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

IoT、AI等最先端の技術は、社会を大きく変える可能性を有しています。当社は、スマート商品の開発・提供を通して、最先端技術の進化をサポートすることでイノベーションに繋げ、社会的課題の解決と豊かな社会づくりに貢献していきます。そして、当社の経済価値と社会価値を高め、社会からの信頼を得て感動を与える企業へと持続的に成長していきます。